

平成 24 年度 市民意識調査の結果概要について

調査の概要

- 【調査目的】施策評価の実施及び次期総合計画策定作業を進めるに当たっての市民意識（市政への評価と期待）の把握
- 【調査内容】後期基本計画策定に当たり実施した平成 19 年の市民意識調査及び平成 22 年の市民意識調査の内容を踏襲するとともに、今後特に市民意識の把握が必要と想定される項目を追加した。
 - 全般的事項（市への愛着度、住み心地、地域に必要な社会資本など）
 - 各施策分野における「現状に対する満足度」と「今後における重要度」
 - 市政への関心、市民参加への市政など
 - 本庁舎の統合整備
 - 防災対策
- 【調査対象】住民基本台帳に登録のある市内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人
- 【抽出方法】人口構成比に配慮した無作為抽出（住民基本台帳データを活用）
- 【調査方法】調査票の郵送配布・郵送回収による方式
 - 調査票発送日 平成 24 年 5 月 16 日(水)
 - 調査票投函期限 平成 24 年 5 月 31 日(木)
 - 集計対象 平成 24 年 6 月 15 日(金)到着分まで
- 【回収数等】回収数 2,414 票（回収率 48.3%）
有効回答数 2,408 票（有効回答率 48.2%）

調査結果の特徴 全般的事項

- (1) 西東京市への愛着度
愛着を「感じている」、「どちらかというと感じている」の合計は 68.5%に上り、H22 調査より 0.4 ポイント上昇。（H19 調査より 3.4 ポイント上昇）
愛着を「感じていない」、「どちらかというと感じていない」の合計は 13.8%にとどまり、H22 調査より 2.4 ポイント減少となった。（H19 調査より 4.0 ポイント減少）
- (2) 身近な生活環境への満足度
住み心地に「満足」、「やや満足」の合計は 64.4%で、H22 調査より 5.7 ポイント上昇。
住み心地に「不満」、「やや不満」の合計は 22.4%で、H22 調査より 5.3 ポイント減少。
- (3) 地域に必要な社会資本
全体的傾向をまとめると下表のとおり（矢印は、前回調査からの上昇/低下傾向）

上位	保健・医療施設、高齢者福祉施設、大規模小売店舗、街路灯(防犯灯)、多目的に使用できる大きな公園・広場
中位	図書館、交番、小さな公園やちょっとした野外休憩施設、スポーツ施設、商店街、市民が利用できる農園
下位	コミュニティーセンター、保育園、市の出張所、自動交付機、児童館・学童クラブ、障害者福祉施設、公民館、集会施設

保育園や児童館・学童クラブ、高齢者福祉施設など、世代により回答に差が出る施設がある。
- (4) 市政全般への満足度
市政全般に「満足」、「やや満足」の合計は 31.3%で、H22 調査から 3.9 ポイント増加。
市政全般に「不満」、「やや不満」の合計は 30.6%で、H22 調査から 6.4 ポイント減少。

調査結果の特徴 各施策分野

全体像

各施策分野間の評価のバラつきをまとめると下表のとおり

	重要度下位	重要度上位
満足度上位	- 芸術文化 - 社会・平等 - 市民参加	- 行政運営 - 環境 - 子ども - 保健福祉
満足度下位	- 産業	- まちづくり

表中の数字は満足度順位-重要度順位

(1) 社会・平等 (平和啓発/人権擁護・教育/男女共同参画/国際交流)

全体 重要度は低く、かつ低下傾向にあり、満足度は既に高く、更に上昇している。

個別 人権擁護・教育の重要度が比較的高い(全体では平均レベル)。

(2) 子ども (子どもの権利/子育て支援/義務教育の充実/中学校給食/子どもの居場所づくり)

全体 重要度は高く、満足度は平均をやや上回る。

個別 全ての項目において、満足度が上昇傾向、重要度は、ほぼ横這い。
中学校給食については、重要度が平均を下回っているが、満足度は大きく上昇。

(3) 芸術・文化 (芸術・文化活動/図書館・公民館/生涯学習/スポーツ活動・施設)

全体 重要度は平均以下で、満足度は既にトップ。

個別 図書館・公民館のみが重要度で平均以上の位置にある。

(4) 保健福祉 (保健事業/地域医療体制/地域・高齢者・障害者福祉/社会保障/相談窓口/生きがいづくり)

全体 重要度はほぼ平均で、満足度は平均を若干上回るレベル。

個別 地域医療体制と高齢者福祉の重要度が比較的高い。

(5) 環境 (緑地保全/農地活用/公園整備/緑化推進/ごみ減量/公害対策/環境学習/省エネ)

全体 満足度・重要度ともに平均以上。満足度は上昇傾向、重要度は横這い。

個別 重要度トップはごみ減量。環境学習の重要度は大きく低下。

(6) まちづくり (駅周辺/景観/道路/バリアフリー/交通網/公共住宅/下水道/防災/防犯/危機管理体制)

全体 満足度は最下位で、重要度は最上位。

個別 道路等整備関連の満足度が低いが、重要度では安全・安心対策関連が高水準。
下水道の満足度は群を抜いて高い水準。公共住宅の重要度は極めて低い水準。

(7) 産業 (農業振興/商業支援/労働環境/企業支援・産学公連携/産業振興/まちの魅力向上)

全体 満足度・重要度ともに平均以下。重要度は低下傾向にある。

個別 農業振興のみ満足度で平均を上回る。

(8) 市民参加 (行政への市民参画/コミュニティ活動支援/ボランティア活動促進/NPO活動支援)

全体 重要度は低く、かつ低下傾向にあり、満足度は既に高い。

個別 全ての項目において、重要度は低下傾向。

(9) 行政運営 (職員対応/情報開示/地域情報化/広報/行財政改革)

全体 満足度・重要度ともに平均を上回る。

個別 行財政改革のみ満足度平均を大きく下回るが、重要度は高い。